

教育委員会の事務の点検及び評価
結果報告書（平成24年度分）

魚津市教育委員会

目 次

平成24年度魚津市教育委員会の事務の点検及び評価について……………	1
平成24年度魚津市教育委員会事務事業の執行状況……………	2
平成24年度主要施策評価表	
1 子育て環境づくりの推進 ……………	7
2 学校教育の充実 ……………	10
3 生涯学習の推進 ……………	13
4 文化の振興 ……………	16
5 生涯スポーツ・レクリエーションの振興 ……………	19
学識経験者の意見 ……………	22
《参考》魚津市の統計抜粋（教育文化）……………	27

教育委員会の事務の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになりました。

魚津市教育委員会では、効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価として施策評価を実施し、その結果について報告・公表します。

2 点検・評価の対象

教育委員会の平成24年度施策

3 点検・評価の結果

教育委員会では、平成24年度主要施策5施策について評価しました。5施策は次のとおりです。

- ①子育て環境づくりの推進
- ②学校教育の充実
- ③生涯教育の推進
- ④文化の振興
- ⑤生涯スポーツ・レクリエーションの振興

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたって、学識経験を有する者の意見を聴きました。

氏 名	区 分
碓 井 幹 雄	元中学校校長
慶 伊 敏 雄	学識経験者
本 元 義 明	元小学校校長、元歴史民俗博物館館長代理
澤 田 祥 治	学識経験者

5 議会への報告及び公表

点検及び評価に関する結果報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市のホームページに掲載し公表します。

魚津市教育委員会事務事業の執行状況

教育委員会事務局

教育委員会事務局は、教育総務課、学校教育課、生涯学習・スポーツ課及びこども課の4課で構成され、各教育機関と連携し、教育行政の向上を図った。

《教育総務課》

教育総務課では、教育委員会会議を11回開催し、22件の議案を審議した。

学校規模の適正化を図るため、平成24年4月1日に松倉小学校と坪野小学校を統合し、新たに松倉小学校として4月4日に開校式典を行った。また、他校区についても地区住民やPTAとの協議を引き続き行った。

小学校の施設設備としては、松倉小学校のプールサイド床張替え、児童用洋式トイレ設置、本江小学校各教室の棚木質化、保健室へのシャワー設置、村木小学校の普通教室の暗線入黒板張替え、グランドネット改修、片貝小学校特別活動室アコーディオンカーテン取付け等を、中学校においては、東部中学校の武道場廊下木質化等を行った。

情報化社会に適応した学習環境を実現するため、小・中学校のコンピュータ及び周辺機器を更新するとともに、情報管理の徹底に努めた。

小学校耐震補強事業では、経田小学校体育館の耐震補強及び大規模改造工事を実施し、平成24年8月に完成した。更に、大町小学校校舎及び吉島小学校校舎の耐震補強実施設計を実施した。

中学校耐震補強事業では、東部中学校校舎の耐震補強実施設計を実施した。

《学校教育課》

学校教育課では、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育の実現のため、小中学校新教育課程実践推進事業を継続するとともに各事業を推進した。

新しい小・中学校学習指導要領に基づく教育を実践し、創意ある教育課程を編成するため、市小・中学校教育研究会、学校課題研修等の教員研究組織へ助成を行った。中学校2校では、「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」を実施し、自主性や豊かな人間性、社会性等を育むとともに、地域社会での体験活動を通じて心の教育を推進した。

国際理解教育として、ALT（外国語指導助手）を中学校2校に配置し英語科の指導の充実を図るとともに、小学校への派遣も行い「総合的な学習の時間」等において英語に親しむ機会を設けた。

学校図書館司書を市内全小中学校に配置し、読書指導、児童の読書意欲の向上を図った。また、「第2次魚津市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動推進の方針を定めた。

人権教育推進として、「みんなが楽しく過ごせる学校に～ここがじまん!わたしたちの取り組み～」をテーマに第7回魚津市子ども会議を開催した。

遠距離通学児童生徒等の登・下校時の交通手段確保として、市民バス運行事業者等への委託により、吉島小学校、松倉小学校、東部中学校のスクールバスの運行を実施した。

発達障害のある児童等を支援するために特別支援スタディ・メイトや学習支援員を各小中学校へ配置したほか、小学校外国語活動をサポートするために英語活動指導員を全小学校へ配置し、学校教育の充実を図った。教育の機会均等を図るため、小中学校就学援助事業を実施した。また、魚津市教育センター内で適応指導教室「すまいる」を運営し、不登校児童生徒の自立支援を実施した。

「魚津市食育推進計画」に基づき、各種食育事業の推進に努めた。

《生涯学習・スポーツ課》

生涯学習・スポーツ課は、生涯学習係、文化係及びスポーツ係で構成されている。

生涯学習係では、生涯学習推進のため、学び続ける環境づくりと地域の教育力の向上に取り組んだ。社会教育委員会議を7月に開催し、委員から事業への提言等を受けた。生涯学習教室を年間延べ15教室開設し、受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。また、地区公民館では、女性、高齢者、伝統芸能等の学級開設、運動会、文化祭等の共催事業を実施した。公民館の整備として、下中島公民館の外壁等修繕及び村木公民館の駐車場整備を行った。

青少年教育としては、関係団体の育成強化に努めるとともに、青少年健全育成事業として、井原市との友好親善都市児童交流事業を実施し、明日を担う青少年の健やかな育成に努めた。また、成人式は、新成人を交えた実行委員会による手作り感覚あふれる成人式を実施した。

家庭教育としては、放課後こども教室事業、子育て講演会及び3歳親子ふれあい村事業を実施し、子どもの健やかな成長を助けるために心の教育や家庭の教育力の向上を図った。

女性教育としては、魚津市連合婦人会の主催事業として県内研修、家庭教育セミナー等を開催した。

高齢者教育としては、高齢者学習活動促進会議、高齢者学級合同研修会を開催した。

青年活動パワーアップ事業では青年教室やサークルの開催並びに青年グループ「うおづ屋」が宝探しイベントを企画実施した。

文化係では、「人・文化を育むまち」をめざし、市文化協会、市美術文化協議会等の文化団体の支援、市民文化祭、市美術展の開催等、市民レベルでの芸術文化活動の活性化を図った。また、音楽のまちづくり事業、学びの森音楽祭の開催等を通して音楽文化の振興を図った。さらに魚津市制60周年記念コンサートや魚津市制60周年記念「魚津をエガク・描く・えがく」展を支援した。市内の小・中学生には、美術、伝統芸能及び音楽の団体鑑賞会を実施した。これら事業や活動の拠点施設として、平成18年度から新川文化ホール及び新川学びの森天神山交流館について指定管理とし、適正な管理運営に努めた。

文化財関係では、国道8号バイパス関係遺跡発掘整理作業を行った。平成10年に始まった国の重要無形民俗文化財「魚津のタテモン行事」のたてもん協力隊（たてもん曳き手ボランティア）を募集したところ本年度も多数の参加があり、たてもんの運行に協力した。また、県天然記念物大沢の地鎮杉保存修理や県天然記念物坪野のつなぎがや保存修理、市史跡大伴家持の歌碑傾き修正基礎修復処置、たてもん第一収蔵庫修繕等を実施した。

博物館関係では、歴史民俗博物館を管理運営するとともに、企画展の開催、博物館教室、市内全小学校の6年生を対象にした企画展示見学会及び市内小学校への出前講座を実施し、郷土の歴史や文化財に関する普及啓発活動を行った。また、魚津の歴史読本シリーズ(3)「魚津でおこった米騒動」を発行した。さらに、博物館協議会を開催し、各博物館（歴史民俗博物館、水族博物館、埋没林博物館）の運営に関する意見を受けた。

スポーツ係では「生涯スポーツ社会の実現」に向けて、各種スポーツ関係団体と連携し、スポーツ大会、イベント、教室等を開催するとともに、住民の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放し、地域のスポーツ振興を図った。また、魚津市スポーツ推進審議会を開催し、平成24年度事業報告、平成25年度の事業計画、新たな地方スポーツ推進計画について協議した。

「第32回魚津しんきろうマラソン大会」は、出場者が過去最多5,884名となる全国に誇れる大会となった。また、市制60周年記念事業として第18回女子野球ジャパンカップをはじめ多くのイベントを開催した。

スポーツ基本法に基づき、平成24年度が計画の最終年度である「魚津市生涯スポーツプラン」に替わる、新たな地方スポーツ推進計画「魚津 きときとスポーツプラン」を策定した。

スポーツ施設の管理運営については、平成18年度からの5年間に引き続き、平成23年4月1日から指定管理者

となった（公財）魚津市体育協会が行い、利用サービスの拡充や自主事業の積極的な開催などにより利用者ニーズに基づいた施設運営が図られた。（指定管理期間は平成28年3月31日まで）

また、施設改修では魚津市総合体育館室内温水プールの濾過器濾材更新及び内部塗装改修工事、総合体育館バスケットコート新規ライン変更工事、天神山野球場コイン式夜間照明修繕を行った。

こども課では、子どもの権利条例に関する事務及び幼稚園の運営を行った。

子どもの権利普及推進として、母子健康手帳交付時に、子どもの権利条例について掲載した「子育て応援ガイドブック」を配布した。また、魚津市子どもの権利委員会を開催した。

幼稚園教育に関しては、幼稚園教育要領に基づき、園児の個性と創造性を育む「幼稚園交流活動事業」を実施するなど、幼稚園教育の充実と地域との連携に努めた。施設整備では、大町幼稚園の暖房設備の改修を行った。また、少子化が進行する中で規模適正化を図るため、平成25年度末をもって経田幼稚園を大町幼稚園へ統合するものとし、保護者・地区・議会へ説明を行った。

《学校給食センター》

学校給食センターは、市内の中学校2校、小学校11校、幼稚園2園（副食のみ）の学校給食を調理・配送し、主食は週当たり米飯3回、パン（麺）2回実施した。

平成24年度に実施した重点事業

- ① 栄養教諭による出張食育指導や残食調査などを実施し、児童生徒の食事実態、食べ物の嗜好の把握に努め、調和の取れた食生活を実践する給食の献立の作成を行った。
- ② 地場産物・郷土料理・行事食等を取り入れた給食を通し、地域に対する理解とふるさとの味への関心を深めるように配慮した。
- ③ 給食をより楽しくするために、季節行事メニュー、バイキング給食を実施し、食事内容の多角化に努めた。
- ④ 食育推進の一環として、市内5・6年生を対象とした「魚津市地場産品メニューコンテスト」を実施し、入賞メニューを給食メニューとして4回提供した。
- ⑤ 学校給食への理解を深めるため、各学校へ出向いての保護者との試食会を17回実施、学校給食センター見学者の受け入れを行った。
- ⑥ 「社会に学ぶ14歳の挑戦」で、西部中学校の2年生男女4人を受け入れ、調理及び食器等の洗浄作業を体験させた。
- ⑦ 食材の安全性に対する関心が高まる中、県による放射性物質検査を70回実施、内魚津市において4回実施し、放射性セシウムはいずれも検出されなかった。

栄養管理

食事内容については、エネルギー・脂肪の過剰摂取にならないようにし、不足しがちなカルシウム・鉄分・ビタミンCなどの栄養素に配慮した。また、食品の種類を幅広く求めバランスのとれた食事内容となるよう努めた。

衛生管理

食中毒の発生防止を重点事項とし、有害物や異物を食物に付着混入させないために、食品の選択・購入・保管・調理・配送に十分注意を払った。

《図書館》

図書館は、あらゆる年齢層の利用者に資料及び情報を提供し、学習活動等を支援する施設である。

資料の収集、提供では、新刊図書、視聴覚資料等を購入し市民ニーズに応えた。また、富山県立図書館のもと県内公共図書館との相互貸借による資料提供を行った。郷土資料、行政資料等の収集、保存、整理に努めた。レファレンス・サービス（図書館資料に基づいて行う相談業務）、読書相談等を積極的に行った。小中学校図書館司

書と連携し、学校、保育園等へ資料の貸出、相談を積極的に行い、子どもの読書活動及び学習を支援した。

広く市民に読書や図書館に親んでもらうために、図書館シネマ倶楽部（映画の上映）、おりがみ教室、子ども向けにおはなし会などを開催した。また、読み聞かせ会など行事をボランティアの手で運営し、書架整理、リサイクル本整理などにも多数のボランティアが参加した。生涯学習の場の提供として、図書館事業と調整しながら研修室・視聴覚室の貸出や学習室の提供を行った。

市史編纂室では、「図説魚津の歴史」・「魚津市史続巻現代編」の販売を平成24年4月に開始した。普及活動として、歴史講座を開講した。

《市史編纂室》

販売数

- ① 図説魚津の歴史 123冊
- ② 魚津市史続巻現代編 8冊
- ③ ①②セット 241組

普及活動

市史編纂・歴史講座（再掲） 2回 参加人数 68人

《埋没林博物館》

魚津埋没林は、約2,000年前の環境変動によって地中に埋もれたスギ巨木の原生林跡で、特別天然記念物に指定されている。博物館はその指定地に立地し、出土した現地で埋没林および関連分野の資料等を保存、展示している。

また同地は蜃気楼展望地点（市指定名勝）であり、全国から関係者が集まる蜃気楼交流会の開催や、蜃気楼発生時には、観測・記録、メールマガジンの発信、証明書の発行を行っている。館内では蜃気楼の解説展示や、ハイビジョンホールで蜃気楼の映像を上映している。

教育普及・展示事業として、博物館教室、企画展、特別講演会、広報誌発行、外部への講師派遣等を行った。本年度の総入館者数は41,582人であり、平成4年のリニューアルからの入館者数累計は1,669,572人である。

《水族博物館》

魚津水族博物館（魚津水族館）は、水生生物を常設展示する富山県内唯一の水族館である。また大正2年（1913年）に創設され、現存する水族館としては日本で最も古く、長い歴史のある水族館でもある。「北アルプスの溪流から日本海の深海まで」、「日本海を科学する」を基本テーマに各種魚類等の収集、調査研究及び飼育、展示を行った。

平成24年度は魚津水族館創立100周年を機にリニューアル工事を実施した。なお、リニューアル工事のため平成25年1月7日から3月15日まで臨時休館した。

企画展・特別展として、春に「エイプリルフール展」の開設や「シロエビ水槽展示」を行った。夏には、特別展「教科書の世界へ飛びこもう！」を開催した。さらに、10月に「ハロウィン水槽」を設置した。また平成25年3月16日のリニューアルオープンからは、魚津水族館創立100周年記念「ホタルイカ特別展」を開催した。

教育普及活動として、児童・生徒が、身近な環境や生物に実際に触れて学び、環境への理解を深めることを目的に結成した「うおづ水辺の調査隊」事業を行った。

博物館をもっとよく知り、利用してもらうために市民感謝イベントを開催した。また、学校教育の中で子供たちの水生生物に関する知識や興味を高める目的で、魚津市内の12小学校に「サンゴ礁の生物水槽」を設置するアウトリーチ活動を行った。さらに、生物多様性を学び、地元の自然に目を向け、自然保護の意識を向上させるため、市内の全小学校に「魚津産メダカ」を配布した。

博物館実習生、動物専門学校研修生や中学生（14歳の挑戦）の受入・指導等を行った。また、職員を講師としての派遣や各種報道機関の取材を多数受け入れた。さらに、毎年恒例の魚津市制60周年記念「第29回魚津水族館写生大会」については、優秀作品を約1年にわたり館内に展示した。

水族館の周知・宣伝活動の一環として、音楽イベント「2012アクアコンサート てくてく オカリナ演奏－日本の歌－」を開催した。平成24年3月からリピーターを増やすために年間パスポートを試験販売していたが、平成25年3月からは正式販売とした。また水族館の活動を記録するため、魚津水族博物館年報第22号を発行した。

平成24年度の入館者数は、140,769人（有料入館者数120,362人、無料入館者数20,407人）で前年度に比べ11.2%増加した。この増加の要因としては、魚津水族館がリニューアルし、マスコミ等に多く取り上げられ来館者の関心を引いたためと考えている。

《こども課》

こども課では、子どもの権利条例に関する事務及び幼稚園の運営を行った。

魚津市子どもの権利条例に基づく子どもの権利委員会を開催した。また、魚津市子ども会議の開催し、子どもの権利条例の意義啓発に努めた。

幼稚園教育に関しては、幼稚園教育要領に基づき、園児の個性と創造性を育む「幼稚園交流活動事業」を実施するなど、幼稚園教育の充実と地域との連携に努めた。

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 23 日

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち
施策No.	23	施策名	子育て環境づくりの推進
主管課名	こども課	主管課長名	高木 繁徳
関係課名	社会福祉課 健康センター 都市計画課		

施策が目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた充実した保育施設と柔軟な保育サービスが利用できます。 子育て情報や子育て支援のネットワークが充実し、安心して子育てができます。 子どもが安心して活動できる施設や参加できる活動メニューが整備されています。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する情報やサービスを活用します。 子育てサロンや支援ネットワークに協力し、地域みんなで子育てを支えます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ニーズを把握し、充実した保育環境を整備します。 子育て情報や子育て支援ネットワークを充実させます。 子どもが活動できる施設や活動メニューを整備します。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 住民全体で子育てを応援する活動が充実します。

施策にかかるコスト等	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	-	-	19 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	10 (10)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	4 (4)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	2 (2)				
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	2 (2)				
うち基本事業(その他)を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	1 (1)				
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	-	-	1,147,279	0	0	0	
うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	979,374				
うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	105,638				
うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	8,916				
うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	53,286				
うち基本事業(その他)を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	65				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	-	-	167				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	-	-	163,760				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	-	-	720,380				
F. トータルコスト (B+E)	千円	-	-	1,867,659	0	0	0	
市民1人あたりにおける施策の								
G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	-	-	25,889				
同上	円	-	-	16,256				
H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	-	-	16,256				
同上	円	-	-	42,145				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	-	-	42,145				
参考	魚津市の人口	人	-	-	44,315			

施策No.	23	施策名	子育て環境づくりの推進								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	保育園・幼稚園等の充実		就学前の児童が質の高い幼児教育や多様な保育サービスを受けられるよう環境整備を進めます。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	就学前学習支援事業(交流保育)		少人数化した保育園同士の交流保育を促進し、児童の健全な社会性を育てます。								
	保育園・幼稚園の施設整備事業		園舎の耐震化や使いやすい施設とするために施設設備の充実に努めます。								
	保育園・幼稚園の育児サロン事業		未就園児とその保護者を対象としたサロンで遊びの指導や子育て相談に応じます。								
	障害児保育事業		児童発達支援センター(つくし学園)の管理・運営を通じ、知的障害や発達障害のある幼児の発達を支援します。								
	基本事業①の目的【意図】		就学前児童が質の高い幼児教育・保育を受けています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	就学前児童が施設に通園する割合		%	71.9	22年度 72.5	23年度 73.0	24年度 73.5	25年度 74.0	26年度 74.5	75.0	78.0
	保育園・幼稚園の育児サロン延利用者数		人	1,032	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,100
	21年度実績				971	985	780				
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	弾力的な保育サービスの充実		多様な保育ニーズに柔軟に対応し、働きながら安心して子育てができるよう様々な保育サービスを整えます。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	一時預かり、幼稚園の預かり保育		在宅で育児をする方が利用できる保育園での一時預かりや、幼稚園の延長保育を実施します。								
	病児・病後児保育支援事業		病気の児童も安心して預けることができる体制を整えます。								
	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)		放課後に留守家庭となる小学生を対象に児童センターなどで育成、指導を行います。								
	基本事業②の目的【意図】		保護者が働きながら安心して子育てすることができます。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	延長保育の延利用者数		人	2,067	2,070	2,080	2,090	2,100	2,100	2,100	2,200
	病児病後児保育施設の延利用者数		人	630	635	640	645	650	650	650	660
	21年度実績				715	665	688				
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
	子育て支援ネットワークの構築		子育て施設や支援団体、関係機関のネットワーク化を図り、どこで相談しても情報を得ることができ必要な支援を得ることができる体制を整えます。								
	③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	子育て支援ガイドブックの配布		魚津市における子育て支援に関する各施設や機関の情報を総合的に提供します。								
子育て情報の提供		市のホームページに子育て支援サイトを設けて子育てに関する各施設や機関の情報を提供します。									
子育て支援センター事業		未就園児と保護者のための施設で子育て相談や幼児教室、講座などを開催します。									
ファミリーサポートセンター事業		子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を結びつけ、地域の子育てを応援します。									
基本事業③の目的【意図】		きめ細かな子育て情報と子育て支援を受けることができます。									
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
子育て支援センターの延べ利用者数		人	8,398	8,400	8,420	8,440	8,460	8,480	8,500	8,700	
子育てポータルサイトへのアクセス件数		件	4,380	6,000	6,500	7,000	7,500	7,750	8,000	10,000	
21年度実績				4,220	5,580	5,600					
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
子どもの活動の場の充実		子どもや子育て支援を行うグループに適切な活動の場を提供し、安全安心な子どもの活動の場の整備充実を図ります。									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
児童センター運営事業		子どもたちに遊びを通して成長する場を提供します。保護者も一緒に利用できます。									
都市公園整備事業		地域にある公園を整備することにより子ども同士や家族とのふれあいの場を提供します。									
放課後こども教室事業		放課後や週末に地域の協力を得て、遊びの場の確保や地域住民との交流活動に取り組みます。									
基本事業④の目的【意図】		子どもたちの成長に応じて活動し健やかに育つ場が確保されています。									
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
小学生の児童センター利用回数(延回数/市内小学生数)		回	29.1	29.5	30.0	30.5	31.5	32.0	32.0	34.0	
21年度実績				26.7	27.1	30.3					

施策No.	23	施策名	子育て環境づくりの推進
-------	----	-----	-------------

24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ・就学前児童が施設に通園する割合、子育て支援センターの利用については、ここ数年間は概ね目標値どおりに推移しています。 ・また、保育園・幼稚園の育児サロン、延長保育、小学生の児童センター利用回数等については目標値を若干下回っているものの利用回数等については増加しています。 ・病児病後児保育利用、(キッズベアー)は平成19年度から実施しており、目標値を上回って利用されています。 ・子育てポータルサイトへのアクセス数は目標値には届いていないものの、徐々に増加しています。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) ・児童センターは5館で近隣他市(黒部市2館・滑川市1館)に比べ多く、各館で「親子教室」を実施したり、「子育て支援ミニ文庫」を設置するなど、その内容についても充実しています。 ・放課後児童クラブは、ニーズに応じて延長利用も実施しています。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ・育児サロン、延長保育、放課後児童クラブは利用者に好評であり、住民が期待している水準を保っています。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述) ①放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) 市内ほぼ全域で実施し、平成22年度から延長利用も対応し、子育て環境改善を進めています。 ②児童センター運営事業 各館で未就学児童と保護者を対象とした「親子教室」等を実施し、利用者のニーズに添った運営をしています。 ③病児病後児保育支援事業(キッズベアー) 病児等を安心して預けることの施設として保護者に好評です。 ④保育園・幼稚園の育児サロン事業 未就学児童と保護者が地域で安心して子育てができるサロンとして各園で実施しています。 ⑤子育て支援センター事業(健康センター) 未就学の乳幼児と保護者向けに子育て相談や幼児教室の開催など在宅での子育てをサポートしています。 ⑥都市公園整備事業(都市計画課) 平成23年度に市内16箇所の都市公園で32基の遊具の更新等を実施し、子どもの活動環境の改善・整備を行っています。 ⑦つくし学園事業(社会福祉課) 児童福祉法の改正に伴い知的障害児通園施設「つくし学園」の機能を拡充して、児童発達支援センターと位置付けたことから、指定管理の更新に併せて応募要綱を見直したうえで、H25年度から29年度の指定管理者の選定を行いました。
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度未で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ・放課後児童健全育成事業、児童センター運営事業、病児病後児保育支援事業については、利用者の意見や要望を採り入れながら、さらに内容の充実に努めます。 保育園・幼稚園の「育児サロン事業」について、「子育て支援センター」と連携し在宅での子育てをする方が利用しやすい内容とするほか、私立保育園12箇所ですと「とやまっ子子育てミニサロン事業」を実施します。 ・保育園、幼稚園について、保育必要量、規模適正化計画の検討を引続き進めます。 ・つくし学園に関しては、主管課の社会福祉課が指定管理者と協力して児童発達支援センターとしての機能向上に努めます。また、施設の老朽化が進んでいることから、施設のあり方に関する検討を進めます。	

	施策の重要度	重点
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)		<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童健全育成事業等の既実施事業については、基本的に現状の実施水準を維持する方向で実施していきます。 保育園、幼稚園の適正配置計画について、中長期的な視野に立つとともに関係機関、私立保育園等とも連携して市全体の規模適正化計画を検討していきます。 未就学児童と保護者のために子育て支援センター機能の充実に努めるとともに魚津市子育て応援サイトなど子育て情報の発信と充実に努めます。

	施策の重要度	一般
行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)		<ul style="list-style-type: none"> 全ての未就学児が質の高い保育、教育を受けることができるように市内保育園、幼稚園の整備、充実を進めます。 子育て支援センター機能の充実に努めるとともに、子育てネットワークの拡大と連携強化に努めます。

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

基本目標No.	4	共通目標名	人と文化を育むまち
施策No.	30	施策名	学校教育の充実
主管課名	学校教育課	主管課長名	八倉巻 清彦
関係課名	教育総務課、学校給食センター、健康センター、都市計画課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育内容が充実しています。 ・だれもが能力に応じて十分な教育を受けることができる支援体制が整っています。 ・規則正しい生活や望ましい食習慣により、元気に学校生活を送っています。 ・安全で心地よく学習できる環境が整備されています。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・基本的な生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力を努めます。
	行 政	・基本的な生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力を努めます。
	そ(地域他)	・基本的な生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力を努めます。

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	36 (34)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (9)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	4 (4)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (7)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	14 (14)			
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	391,797	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	39,633			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	9,706			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	120,647			
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	221,811			
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	52			
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	30,580			
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	134,521				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	526,318	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	8,841			
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	3,036			
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	11,877			
	参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315		

施策No.	30	施策名	学校教育の充実	
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)	
	確かな学力を育む教育の推進		基礎的・基本的な知識や技能に加えて、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを含めた幅広い学力の育成を図ります。また、特別な支援を要する児童生徒のために指導員を配置します。	
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)	
	・小中学校教育研究事業		・教職員の指導力向上を目的とした研修会を行います。	
	・小中学校教科用図書給付事業		・児童生徒に教科用図書や道徳などの準教科書を無償配布します。	
	・特別支援教育推進事業		・発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒に対し、学習指導上の支援を行います。	
	・外国語指導助手導入事業		・東西中学校に1名ずつ外国語指導助手を配置し、英語の授業の補助を行います。	
	基本事業①の目的【意図】		・意欲的に学習に取り組むための教育内容、環境が充実しています。	
	成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)
				22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度(中間目標値) 32年度(最終目標値)
	小:学習の達成状況 <small>(小:4教科)(小中教研学力調査の市の目標値に対する割合)</small>	%	96.4	96.7 96.9 97.2 97.4 97.7 98.0 100
				97.2 97.6 98.7
	中:学習の達成状況 <small>(中:5教科)(小中教研学力調査の市の目標値に対する割合)</small>	%	88.2	89.1 90 91 92 93 94.0 100
				87.8 89.8 94.6
	基本事業名②		事業内容(活動内容)	
	豊かな心を育む教育の推進		読書活動や体験活動、いのちの教育活動などを積極的に取り入れるとともに、道徳教育の充実を図ります。また、不登校の児童生徒に寄り添うための適応指導教室を運営します。	
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)	
	・学校図書館司書配置事業		・市内小中学校に学校図書館司書を配置し、児童生徒の読書活動を推進します。	
	・社会に学ぶ14歳の挑戦事業		・キャリア教育の一環として、中学2年生が学校外で職場体験活動を行います。	
	・適応指導教室運営事業		・適応指導教室「すまいる」を開設し、不登校傾向の児童生徒の学校復帰を支援します。	
	・いのちの教育推進事業		・いのちの教育推進委員会を設置し、命の大切にする学習や体験学習を積極的に行います。	
	基本事業②の目的【意図】		・コミュニケーション能力の向上とともに、豊かな心を育むための教育環境が充実しています。	
	成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)
				22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度(中間目標値) 32年度(最終目標値)
小:不登校児童・生徒の割合 (30日以上欠席の割合)	%	0.16(小)	0.15 0.13 0.12 0.1 0.09	
			0.21 0.47 0.3	
中:不登校児童・生徒の割合 (30日以上欠席の割合)	%	2.45(中)	2.25 2.05 1.85 1.64 1.44	
			2.43 2.48 1.97	
5月1か月間に読んだ本の冊数	冊	7.6	9.0 9.0 9.0 9.0	
			9.1 9.1 11.2	
基本事業名③		事業内容(活動内容)		
健やかな体を育む教育の推進		健康の保持と体力の増進を図るとともに、食育を計画的に推進し、望ましい食生活を実践しようとする態度を育てます。		
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)		
・小中学校健康保健事業		・児童生徒の健康診断などを行い、健康の保持、増進に努めます。		
・食育推進計画の策定・推進		・関係各課と連携し、市としての食育推進計画を策定し、実践に努めます。		
・おいしくて安全な学校給食の提供		・栄養バランスの取れた、安全でおいしい給食を提供します。		
基本事業③の目的【意図】		・安全で健康な生活及び望ましい食生活など、健康的な生活習慣を形成する環境が整備されています。		
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)	
			22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度(中間目標値) 32年度(最終目標値)	
けがや病気の件数(1日当たりの保健室来室人数)	人	4.0	3.8 3.5 3.0 2.8	
			4.1 3.6 4.1	
学校給食の残食率	%	3.0	4.0 3.5 3.0 2.5	
			5.3 3.6 2.5	
基本事業名④		事業内容(活動内容)		
教育環境の整備・充実		社会状況に応じて就学援助を充実します。また、学校施設の維持補修や耐震化などを計画的に進めるとともに、学校規模の適正化を図り、教育環境を整備します。		
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)		
・小中学校就学援助事業		・経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し必要な援助を行います。		
・学校施設の耐震化		・耐震性の不足している学校施設の耐震化を積極的に図ります。		
・学校規模適正化事業		・児童生徒の教育環境の充実を図るため、市全体の学校規模の適正化を推進します。		
基本事業④の目的【意図】		・児童生徒が安全で心地よく学習できる環境が整備されています。		
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)	
			22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度(中間目標値) 32年度(最終目標値)	
学校施設の耐震化率	%	51.7	53.3 62.7 64.7 83.3 95.2 97.6 100	
			53.3 62.7 69.0	

施策No.	30	施策名	学校教育の充実
-------	----	-----	---------

24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)	
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	

	施策の重要度	重点
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援員派遣事業や特別支援教育推進事業における支援員、英語活動支援員、学校図書館司書など、年々拡充を図り予定数に達しています。各小中学校では、各種支援員の配置を強く望んでおり、児童生徒の学力向上を図る上でも、今後、現在の支援員数を確保していきます。 ○ 豊かな心を育てるために、体験活動や読書活動、いのちの教育活動、道徳教育の充実を図ります。 ○ 食育推進計画に基づき、健康センターや給食センターと連携を図りながら、各学校で具体的な取り組みを進めていきます。 ○ 平成25年度に見直される学校規模適正化を進めていきます。

	施策の重要度	重点
行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)		<ul style="list-style-type: none"> ◆授業の改善や、効果的な指導方法について研究・実践し、児童生徒の学力向上を図ります。 ◆特別な支援を要する児童生徒のため、個別に指導できる体制を充実します。 ◆道徳教育を充実するとともに、いのちを大切に学習や体験活動、地域での交流活動、読書活動などを積極的に取り入れ、児童生徒の豊かな心を育みます。 ◆学校施設の耐震化及び学校の規模適正化を進めます。

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

共通目標No.	4	共通目標名	人と文化を育むまち
施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	南塚 智樹
関係課名	図書館、水族博物館、埋没林博物館		

施策が目指すことが	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり、個々のライフステージに応じ、学ぶことへの意欲や教養を高めています。 人と人とのつながりを深めながら学びの輪を広げ、地域活動に参加しています。 図書館や博物館から情報が発信され、多くの人が生涯学習の場として活用しています。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習事業に積極的に参加します。 自分の経験や学習した成果を地域における教育活動に活かします。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習の場の確保、機会、情報の提供を行います。
	その他	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	30 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	8 (8)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (9)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	13 (13)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	475,244	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	90,888			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	92,465			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	291,891			
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	66				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	29,340				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	129,067				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	604,311	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	10,724			
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	2,912			
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	13,637			
	参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315		

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進							
基本事業名①		事業内容(活動内容)								
学び続ける環境づくり		図書館のサービスを充実するとともに、市民の学習ニーズに応じて生涯学習教室や講座を開催し、学ぶ意欲や教養を高めます。また、学びの森交流館を活用して青年活動の活性化を図ります。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
図書館資料収集保存事業		図書、雑誌、視聴覚資料等を収集保存し、市民や利用者に提供します。								
生涯学習振興事業		社会教育関係者に研修を実施し、生涯学習の振興を図ります。								
生涯学習教室		学習と交流の場と機会を市民に提供し、生涯学習を推進します。								
青年活動パワーアップ事業		青年層の活動の活性化を図ります。								
基本事業①の目的 【意図】		学びやすい環境を整備することにより、多くの人が生涯学習を行います。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市民一人あたり図書館貸出冊数		冊	7.93	7.95 7.84	8.00 7.84	8.05 7.86	8.10	8.15	8.20	8.50
生涯学習に取り組んでいる市民の割合		%	20.8	20.0 18.3	20.0 31.2	20.0 24.5	20.0	20.0	20.0	25.0
若者が取り組む自主事業数		件	8	8 9	9 12	10 12	11	12	13	15
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
地域の教育力の向上		地域の教育活動の拠点としての公民館を活用して、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりへと発展するよう支援します。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
公民館運営事業		住民の教養の向上の拠点としての公民館施設の維持管理を図ります。								
青少年・女性・高齢者教育事業		幅広い年代層の市民を対象に、各種講座を開催し、生涯学習の機会を提供します。								
放課後こども教室推進事業		公民館や小学校で、小学生を対象に色々な遊びや伝統芸能、サークル活動を実施します。								
公民館活動振興事業		公民館で各種教室、地区運動会、敬老会、文化祭を開催し、地域住民の交流を図ります。								
基本事業②の目的 【意図】		公民館で、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりを行います。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
地区公民館利用者数		人	130,358	130,500 134,337	130,700 140,705	130,900 135,480	131,100	131,300	131,500	132,000
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
博物館の充実		より魅力ある水族博物館、埋没林博物館、歴史民俗博物館を目指して、企画展示の充実と施設整備を行います。また、アウトリーチ活動やITを活用した積極的な情報発信に努めます。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
博物館企画展示事業		各館でテーマを設けて、特別展示を行い、情報発信に努めます。								
博物館改修事業		博物館の修繕やリニューアルを実施し、蜷気楼の情報を全国に発信します。								
蜷気楼ネットワーク事業		蜷気楼交流会を開催し、蜷気楼の情報を全国に発信します。								
アウトリーチ事業		小学生や一般を対象に裾野を広げる契機として出前講座等を行います。								
基本事業③の目的 【意図】		生涯学習施設として博物館が役割を果たします。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
博物館合計入場者数		人	216,019	217,000 178,540	218,600 168,955	220,200 188,184	221,800	223,400	225,000	230,000
博物館の企画展と学習会の開催回数		回	31	31 31	32 27	33 27	34	35	36	40
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人当たりの図書貸し出し冊数は、前年度に比べて減少しました。 ・地区公民館の利用者数は、前年度に比べて減少しましたが、目標値を上回っています。 ・市民アンケートの結果では、自ら生涯学習に取り組んでいる人の割合は、前年度に比べて減少したものの、目標値を上回っています。 ・減少傾向にあった博物館の入場者数は前年度に比べ11%増加しています。 		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	他市と比較していませんが、市内各公民館、天神山交流館、新川文化ホール、みどりの高校で生涯学習講座を開催しており、施設並びに講座も多く、図書館も午後9時まで開館しており多くの利用者が利用しています。		
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
生涯学習に取り組んでいる人の割合が23年度31.2%から24年度24.5%と減少しましたが、今後取り組みたい人の割合は35.9%となっており、今後も引き続き、短期コースを開設するなど、参加しやすい環境づくりに努める必要があると思われまます。			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)			
<ul style="list-style-type: none"> ①水族博物館、埋没林博物館、図書館では、定期的に博物館教室や学習会を開催しています。 ②自分の住む魚津市をもっと知るために「ハートフルセミナー」を開催し、地元企業見学も実施しています。 ③地区公民館では、それぞれの地区の特性を活かした講座を開催しています。 ④短期コースを実施したことにより、市が主催する生涯学習教室への関心が高まり、新規の受講生が増えてきています。 ⑤青年活動パワーアップ事業を実施し青年活動の活性化を図りました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<ul style="list-style-type: none"> ①市民の多様なニーズに応えるため、新規講師の発掘、新規講座の開設を進めていきます。 ②市民の学習機会の拡充のため、受講しやすい生涯学習短期コースの開設により新規受講者の増加を目指します。 ③青年活動パワーアップ事業の推進により、青年活動の活性化を図ります。 ④魚津埋没林の埋蔵分布状況の調査を実施し、今後の展示に活用します。 ⑤魚津水族館100周年記念事業を実施するとともに、大型の機械・設備の計画的な更新・修理を行い、入館者数の向上を図ります。 ⑥水族博物館、埋没林博物館の冬季開館日の拡大、図書館の開館日の見直しにより、利用しやすい施設を目指します。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、中央公民館、地区公民館で行われている各種教室や交流事業は活発に行われており、今後も引き続き、誰もが学びやすい環境づくりの実現のため、施策の水準の維持に努めます。 ・青年団体、青少年団体、女性団体、高齢者団体等の社会教育活動に対する支援を引き続き実施します。 ・施設面では、地区公民館の耐震化やバリアフリー化を更に進めて行く必要があります。博物館においては、歴史民俗資料館や埋没林博物館の常設展示を見直すとともに、水族館100周年記念事業など企画展示の充実を図っていきます。 	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆博物館等が生涯学習の場としてさらに活用されるよう、調査研究活動を進めるとともに、積極的な情報提供を行います。 ◆より魅力的で集客力の高い博物館とするため、展示の充実・更新を図るとともに、施設の改修を進めます。 	

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	33	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	南塚 智樹
関係課名	図書館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。 ・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に芸術文化活動に参加します。 ・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組みます。 ・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。
	その他	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	4 (4)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (9)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	124,108	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	96,204			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	27,904			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	31				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	6,070				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	26,702				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	150,810	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	2,801			
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	603			
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	3,403			
	参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315		

施策No.	33	施策名	文化の振興							
基本事業名①		事業内容(活動内容)								
芸術文化活動の推進		恵まれた文化施設を活用し、市民による創作や成果発表などの活動を支援するとともに、美術や音楽などの優れた芸術文化活動に触れる機会を増やします。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
芸術文化振興事業		市民に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術の普及と振興を図ります。								
音楽のまちづくり推進事業		各種音楽事業を実施し市民が気軽に音楽に親しめる環境を作ります。								
新川文化ホール運営事業		県文化振興財団を指定管理者として、ホール、展示事業を実施し鑑賞の機会を提供します。								
新川文化ホール鑑賞事業		児童・生徒に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供します。								
基本事業①の目的 【意図】		芸術文化活動に数多く触れ、市民の誰もが心の潤いと心の豊かさを実感できます。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
芸術文化活動に触れる機会が多くあると思う市民の割合		%	24.2	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27.0	32.0
新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主企画事業の参加者数		人	46,138	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	63,000	68,000
				57,441	47,761	57,845	61,000	62,000		
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
地域の歴史や文化の保存・伝承		魚津の歴史や文化の紹介とともに、洞杉や米騒動などの地域遺産を顕彰し、保護・継承に努めます。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
文化財保護団体育成事業		指定無形文化財保護団体の実施する活動を支援します。								
文化財保護・管理事業		国指定の特別天然記念物である埋没林をはじめ市内の文化財を保護管理し、文化財保護審議委員会を開催し文化財の指定・調査を行います。								
基本事業②の目的 【意図】		郷土の文化財・伝統文化の保存活用に努めるとともに、市民の郷土を愛する意識を高めます。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合		%	39.0	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	43.0	48.0
たてもんボランティアの参加人数		人	153	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	350	400
				200	118	245	330	340		
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業③の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	33	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ・新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は、「ガンダムワールド2012 in 魚津」の入場者が16,000人と非常に多かったことや市制60周年記念事業の催行などにより、前年度に比べて大きく増加しました。 ・市民アンケートでは、芸術文化活動に触れる機会が多くあると感じる市民の割合はほぼ横ばいですが、郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は増加しています。 ・たてもんボランティア参加者数は、22年度及び初日が雨天中止となった23年度を大きく上回りました。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) ①新川文化ホールと天神山交流館の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市に比較しても充実しています。
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ①文化芸術について、5万弱の人口規模の魚津市において全国規模の企画を実施することは難しく、また、市民の希望する分野も多岐にわたるため、全ての分野において市民の期待水準に応えることは難しいと思われまます。	
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)	
①小中学校の時から芸術文化に親しんでもらうため、新川文化ホールでの芸術鑑賞や伝統芸能、音楽鑑賞を実施しています。 ②音楽の街づくり事業による小中学校、公共施設への出前演奏を行いました。 ③新川文化ホールの展示ホールやミラージュギャラリーで市美協会員展を開催するとともに、関係団体との協力により多くの市制60周年記念事業を実施しました。 ④歴史民俗博物館の展示への市内小学6年生の鑑賞・解説事業を行うとともに、歴史副読本③米騒動を刊行し、小中学校への配布と一般への販売を行いました。 ⑤たてもんボランティア募集により、郷土の伝統を守る意識の向上を図りました。 ⑥全国山城サミット連絡協議会魚津大会を開催し、山城の保全、整備活用に関するシンポジウムを開きました。 ⑦文化施設を利用しやすい施設とするため、学びの森交流館の非常放送設備、宿泊棟屋外階段の修繕を行いました。	
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
①新川文化ホールや学びの森交流館で開催するコンサートや企画展については、幅広い市民の要望を取り入れた内容となるよう指定管理者と協議していきます。 ②県内各文化施設と連携し少ない事業費でコンサート等が開催できるよう工夫していきます。 ③平成25年5月に市文化財に指定した洞杉の保護顕彰に努めます。 ④松倉城郭群の実態を把握するため、遺跡の調査を行います。 ⑤埋没林埋蔵分布調査事業に取り組みます。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館で実施している小中学生や一般を対象とした芸術文化鑑賞事業や、各種団体で行われている芸術文化活動は近隣と比較して高い水準にあると考えられることから、今後も水準の維持に努めていきます。 文化財の保存・継承については、文化財保護団体の実施する活動を引き続き支援していくとともに、文化財の保護顕彰に努め、文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう取り組んでいく必要があります。	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	◆文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう、文化財保護や伝統芸能の継承に対する活動を引き続き支援します。	

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	南塚 智樹
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで幅広い年代層の市民が多様なスポーツに親しんでいます。 競技スポーツの感動がまちに活力を与えています。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から生涯を通じた楽しいスポーツライフを目指します。 子どもから高齢者まで、総合型地域スポーツクラブをみんなで支えます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の整備、人的支援、スポーツクラブの育成を行います。 スポーツ事業の開催、支援を行います。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> 地区で各種スポーツ事業を自主的に行います。

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	13 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	7 (7)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (5)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	143,115	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	129,803			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	13,312			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	20				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	3,400				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	14,957				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	158,072	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	3,229			
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	338			
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	3,567			
	参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315		

施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興							
基本事業名①		事業内容(活動内容)								
生涯スポーツ・レクリエーションの推進		幅広い年代層の市民が、多種多様なスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう施設を整備するとともに、総合型地域スポーツクラブなど市民スポーツ活動を育成・支援します。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
スポーツ推進委員事業		スポーツ推進委員を市内各地に配置し、スポーツ実技の指導や助言を行います。								
学校体育施設開放事業		学校体育施設をスポーツ利用のため一般に開放します。								
市民スポーツ奨励事業		市内で開催される全国規模なスポーツ大会を助成します。								
体育施設管理事業		スポーツ施設の適正な維持管理を実施します。								
基本事業①の目的 【意図】		誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
週1回以上スポーツをする市民の割合		%	24.8	22年度 20.0	23年度 21.0	24年度 22.0	25年度 23.0	26年度 24.0	25.0	30.0
総合型地域スポーツクラブ会員数		人	3,404	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	4,500
				3,322	3,217	3,186				
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
選手・指導者の育成と支援		各種競技における底辺の拡大と競技力の向上を図るため、選手や指導者の育成を図ります。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
市民体育大会、県民体育大会		市民にスポーツを普及振興するため市民体育大会を開催、県体に出場する選手に対し派遣経費の一部を補助します。								
中学校部活動活性化事業		中学校の運動部に、専門的技術を有する外部指導者を派遣し競技力の向上を図ります。								
選手強化育成事業		ジュニア育成、指導者講習、優秀選手派遣助成等により選手強化を行います。								
スポーツ少年団育成事業		スポーツを通じて児童の交流を深めるスポーツ少年団の活動を育成します。								
基本事業②の目的 【意図】		各種スポーツ団体や選手の活動を支援し市民スポーツの活性化を促進します。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
スポーツ少年団加入率		%	41.1	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	50.0
スポーツ大会への参加者数		人	13,402	13,600	13,800	14,000	14,200	14,400	14,600	15,000
				13,546	14,847	18,452				
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業③の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)

施策の成果
達成にあ
たって優先
的に取り組
むべき主な
取組み

施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
-------	----	-----	--------------------

24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ・市民アンケートでは、週1回以上、運動やスポーツを行っている市民の割合は、前年度の30.1%から24年度は26.8%とやや減少しました。 ・スポーツ少年団の加入率や地域型総合スポーツクラブ会員数はやや減少したものの、市制60周年記念事業の開催などによりスポーツ大会への参加者は大きく増加しています。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) スポーツ施設では、県内でも充実している方であり、学校施設についても開放しており、施設面では充実しています。スポーツクラブについても総合型、地域型併せて4つのスポーツクラブがあり県内でも組織率が高くなっています。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ①魚津市は、県内においてもスポーツ施設が充実している方であり、「生涯スポーツプラン」のアンケート調査においても7割の方が充実していると答えています。また、学校体育施設の夜間開放で体育館やグラウンドも大いに利用されており、市民の生涯スポーツの普及に役立っています。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述) ①【スポーツ推進委員事業】 スポーツ推進委員協議会が、ニュースポーツの普及に指導・講習会等開催し、小学生を含めたニュースポーツの大会が開催され、多数の児童が参加しています。また、ニュースポーツ関連協会においても、児童を対象とした講習会や大会を開催しています。 ②【チャレンジデー事業】 市民のスポーツ実施率の向上を目指し、チャレンジデーに初めて取り組んだところ、参加率は37%でした。 ③【選手強化育成事業】 主に小・中学生の競技者育成のため、合同練習会や合宿の実施、また、選手・指導者等を対象とした講習会の開催など、競技力の向上と競技人口の拡大、選手・指導者の育成に努めています。 ④【体育施設費】 平成24年度は温水プールの濾過器の濾材の取替修繕を実施しました。
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ①平成24年度に策定した「魚津きときとスポーツプラン」に基づき、子どもの体力の向上、生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進の三つを柱として、市民のスポーツ活動を推進します。 ②スポーツ少年団等の加入促進に向けて、関係団体と協力しながら取り組みます。 ③総合型地域スポーツクラブの活動情報を提供する等市民への周知に努めるとともに、会員数の増加や財源の確保が図られ、継続的、安定的な運営が行われる体制づくりのための支援、指導に努めます。 ④平成25年のチャレンジデー2013においては、前年を上回る42%の市民の参加があり、対戦相手に勝利しました。 ⑤スポーツ施設は充実しているものの、建設からかなりの年数を経過した施設が多く、計画的な修理維持管理や改修の方向性を検討し、住民が利用しやすい施設整備に努めます。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	市内のスポーツ施設は、県内でも充実している方であり、学校体育施設も一般開放しています。スポーツ活動についても、体育協会、体育指導委員、地区体育振興会、総合型地域スポーツクラブ、学校体育施設開放管理指導員が、それぞれ活発に活動されており、施策の方向性としては今後も引き続き、現在の水準を維持していきたいと考えています。 スポーツ施設については老朽箇所の補修や競技施設基準の改定に対応するよう努めるとともに、耐震診断をはじめとする将来的な施設の維持、改修に向けた調査を進めています。	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	◆市民が生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進します。 ◆体育施設の老朽箇所の補修や競技施設基準の改定に対応するとともに、将来的な施設の維持・改修に向けた調査を進めます。	

学識経験者の意見

○ 子育て環境づくりの推進

◇ 保育園・幼稚園等の充実

- ・就学前児童が施設に通園する割合が順調に推移している。
すべての就学前児童が質の高い保育サービスや幼児教育を受けることが出来るように環境整備を進めてほしい。
- ・平成25年度末で経田幼稚園が大町幼稚園に統合されることになっているが、引き続き保護者、地元住民への適切な説明を行っていただきたい。

◇ 弾力的な保育サービスの充実

- ・延長保育および放課後児童クラブの利用者数の増加は、女性の就労率や共働き世帯が多くなってきていることに起因しているものと考えられる。
今後もニーズに応じた保育施設及びサービスの充実を進めていただきたい。

◇ 子育て支援ネットワークの構築

- ・子育て支援センターの利用者数、子育てポータルサイトのアクセス件数が堅調に伸びてきていることから、必要な支援を求める保護者の関心の高さを示している。よりきめ細やかな子育て情報の提供と、支援の事業を計画してほしい。

◇ 子どもの活動の場の充実

- ・小学生の児童センター利用回数が順調に伸びてきていることは好ましいことである。また地区の公民館での実施している「放課後こども教室事業」は、地域住民との交流・体験活動は、遊びなどを通して、お互いに思いやる心、いたわり合う気持ち、感謝や尊敬の念を育む場として極めて有効である。特に地域の高齢者とのふれあいを通じて、豊かな知識・技能や知恵を学び、人と関わる力を育む機会として、今後も推進していただきたい。

○ 学校教育の充実

◇ 確かな学力を育む教育の推進

- ・小中学校の学習状況の実績値は年々順調に伸びてきているのは、市全体での学力向上の取り組みの成果と考えられる。
- ・学習遅滞傾向の児童生徒の支援を行う学習支援員の指導に有効に機能しており今後も更なる充実を図られたい。
- ・授業の改善、学習規律の確立、家庭学習の習慣化のためには、学校・家庭との緊密な連携・協力が不可欠である。各学校では、児童生徒の実態に応じた具体的な手

立てや工夫が求められている。

◇ 豊かな心を育む教育の推進

- ・不登校の児童生徒の割合が前年度よりも減少しており、学校全体での取り組みの成果が現れてきている。
- ・全校体制での組織的な生徒指導を進め、複数の視点で見守り、心のサインを見逃さず気軽に相談できる雰囲気づくりや相談体制づくりに努めてほしい。
- ・特別支援スタディメイト派遣事業及び適応指導教室「すまいる」は、様々な問題を抱えている児童生徒の自立支援として有効に機能している。今後も継続と増員を期待したい。
- ・軽度の障害のある児童生徒に対する通級指導教室は大変有効であり、県に継続を働きかけてほしい。
- ・高度情報化の進展による弊害として、ネットやメールによる陰湿ないじめが大きな社会問題となってきている。学校間、家庭・地域社会との連携を強化して未然防止、早期発見、早期対応に努めてほしい。

◇ 健やかな体を育む教育の推進

- ・学校給食の残食率が大きく向上していることは好ましい。これからも食に関する正しい知識と望ましい食生活、食を通じての自らの健康管理が出来るように指導を計画的に進めてほしい。
- ・心身の健康に関する悩みや不安について気軽に相談できる体制づくりと環境づくりを工夫され、個に応じたきめ細かい指導援助を行ってほしい。

◇ 教育環境の整備・充実

- ・校舎等耐震補強工事は 厳しい財政状況下ではあるが、児童生徒の安全確保、地域住民の災害等の避難拠点として着実に実施されてきている。
今後は学校規模の適正化計画を視野に入れながら、整備計画の実施と地域住民への整備計画の説明を適宜行ってほしい。

◇ 学校規模適正化

- ・坪野小学校と松倉小学校の統合が図られて適正化計画は実施されているが、少子化が予想以上に進行していることから、計画の早急の見直しを図られたい。
また該当する地域住民との協議は、大局的な視点に立ちながら、誠意を持って丁寧な説明と対応をお願いしたい。

○ 生涯学習の推進

◇ 公民館について

市内の公民館については、順次改修が進められ大変利用しやすい施設となっています。

かつての公民館は、社会教育団体を中心した学習などにより多く利用されておりましたが、現在は地区のコミュニティ施設としてその存在感を増してきております。

大町、加積、本江地区では、地域振興組織が公民館を活動拠点としてそれぞれ独自の活動を展開し、その他の地区においてもこの動きが広がってきています。

このことは、公民館と地区の活動を活性化し、地区の団結力や振興に資するとともに、新たな起爆剤のような役割を果たしています。

また、近年公民館の果たす役割は大きく、青少年の活動や生涯学習の場として地区を越え、幅広い年代に利用が広がっています。しかしながら高齢者が増加する中、足の弱い高齢者にとって利用のしにくい施設となっていることは誠に残念であります。近い将来において、誰でも、いつでも気軽に利用できる施設として改修されることを望みます。

◇ 生涯学習の推進

市内では、学びの森天神山交流館や地区の公民館、新川文化ホールなどを中心として多くの生涯学習サークルが活動しています。その活動の成果は毎年発表され、市民も楽しみにしているのではないかと思います。

また、ハートフルセミナーや短期の生涯学習講座の開設などの実施で、幅広い世代の学習意欲を高める工夫については、効果を上げております。しかしながら予算の関係もありますが、新たな講師の発掘や市民の興味を強く引き付ける講師や講座の開設に一層の努力をお願いします。

◇ 図書館について

新しい図書館が建設され、多くの市民から利用され、また、愛される図書館に生まれ変わりました。開設当初に比べ利用が若干減少しておりますが、依然として高い水準で推移しております。これは偏に美術展の開催、コンサートや映画鑑賞、読み聞かせ教室、折り紙教室の開催など地道な活動の成果と思われれます。今後ともこの活動を続けていただきたいと考えます。図書は、子供の心と体に大きな影響を与えます。幅広い蔵書を求められ、将来の魚津市や富山県を担う人材の育成につながるよう一層の工夫をお願いします。

○ 文化の振興

- ◇ 10月の第19回全国山城サミット協議会の開催はよかったのではないかと。松倉城とその支城群を全国から集まった参加者にアピールできた良い機会であった。貴重な遺跡が埋もれてしまわないよう、草刈作業、アクセス道路の垂れ枝や草木

等の処理を行い、見学者の利便性を向上させてほしい。さらに、大々的に遺跡の調査・確認を進め、空堀や切岸などの城としての役割が分かる説明板の設置を推進していただきたい。

- ◇ 新川文化ホールの参加入場者が 8000 入ほど伸びている。また、年間の利用料金も 700 万円近くも伸びている。素晴らしいことである。関係者の努力によるものであろう。市制 60 周年にあたり、各種の記念事業が催されたことも一つの要因だと思うが、他の伸びた要素をしっかりと分析することで、通常のホール運営に反映することができるのではないか。
- ◇ 新川学びの森天神山交流館の施設利用状況をみると、件数が増加して、利用者数が減少している。一般の利用者が増加し、学生の利用が減ったことによるものかもしれない。利用料が 100 万円ほど増えているのもその表れと思われる。将来、利用者として育っていく学生への働きかけ、より多くの人に利用してもらえる企画が必要ではないか。
- ◇ たてもんボランティアの取組みの 245 名の参加は、多いのか少ないのか判断しにくい数字ではあるが、祭りの大衆化をめざす体験型・参加型の取組みであるので今後とも継続して行っていただきたい。また、たてもん祭りと同時に開催された蝶六街流しは、踊り手、観客、飛び入り参加者を長く会場に留め、街流しを堪能してもらうためにも、一斉スタートにして輪になって踊ることなども関係機関とともに検討していただきたい。
- ◇ 魚津歴史民俗博物館は、山城サミットが魚津で開催されたはずみか、600 人ほど来館者が伸びている。それだけが、要因ではないかもしれないので、増えた要因を多方面から分析し、子供の歴史学習への貢献、歴史に関心のある大の発掘、増加につながるように活動を企画・工夫し続けてほしい。
- ◇ 全国山・鉾・屋台保存連合会魚津市大会、富山県山（車）・鉾・屋台行燈祭交流会議の開催支援は、たてもん祭りを継承されている皆さんの自信と誇りを高めるのに良い企画であったのではないか。

○ 生涯スポーツ・レクリエーションの振興

- ◇ 魚津きときとスポーツプランについて
平成 15 年度から推進されてきた「魚津市生涯スポーツプラン」に基づく生涯スポーツ事業も 10 年が経過し、この度その反省と成果を踏まえて、今後 10 年間のスポーツ推進の方向性を示すため、全面的な見直しが行なわれたことについて深く敬意を表します。
- ◇ 生涯スポーツの推進・充実について
各年代のスポーツライフを実現することは、健康の増進や体力の向上はもとよりスポーツで汗を流すことにより参加者同士の温かい心のコミュニケーションが生まれることに繋がります。
このためにも体育協会や総合型スポーツクラブ等に一部事業を委託するも、スポーツ

行政として一歩踏み込んだ支援をしながら、指導者の養成、確保等に深く関わりを持ち続けていただきたい。

◇ 生涯スポーツ振興事業について

各年代の市民ニーズに応じた、スポーツ活動に対応した事業が計画どおり行われ期待した成果が得られていることが感じられます。今後、スポーツ推進委員等が中心となったスポーツ教室系（地域住民対象、出前教室等）の開催を増やし、ニュースポーツ等の普及に今一度積極的に取り組んでいただくことを期待します。

◇ スポーツ施設について

スポーツ施設は、各種大会や練習の場として、多くの市民の生涯スポーツ・健康づくりのためになくては必要な施設です。各施設の利用実態を把握しながら効率的・効果的な運営により一層推進されるよう指定管理体制に取り組んでください。

また、スポーツ施設関係の維持・営繕関係が適切に行われていることは評価します。

一時的な対処療法としての改修である場合は、長期的には非効率的でコスト増の要因となる可能性があります。そのため当初から長期的な改修計画を基に予算を有効に活用し、計画的・効率的に工事を実施されては如何でしょうか。

今後、市民の多様なニーズに応えられるよう生涯スポーツ活動の場や競技スポーツの場などスポーツ施設の役割分担を明確にするとともに、施設ごとの老朽化の度合いや施設整備の整備・充実に努めていただきたい。

◇ おわりに

市民のスポーツ参加機会を拡充するための施策・事業については、主にスポーツイベントやスポーツ教室等を開催し、いわゆるスポーツ初心者スポーツに誘導するといった効果をもたらしました。しかし、その後個人がそのスポーツ活動を継続していく方向になかなか繋がらないというのが現状であり、主体的なスポーツ活動の継続に繋がる施策展開が求められています。

今後は、初心者からスポーツを始めるきっかけとなる事業や指導者・場所・仲間（サークル）の紹介などといった各種スポーツ情報提供を充実するなど個人が主体的にスポーツを継続していけるよう施策の拡充が必要です。

15 教育文化

(1) 幼稚園別園児・学級数及び教員数

平成24年5月1日現在
資料 学校基本調査

幼稚園名	園児数(人)			学級数	教員数(人)
	総数	男	女		
経田幼稚園(市立)	26	14	12	3	4
大町幼稚園(市立)	48	26	22	3	4
大谷幼稚園(私立)	休園中				
明星幼稚園(私立)	25	12	13	3	3

(2) 幼稚園児・教員数の推移(市立)

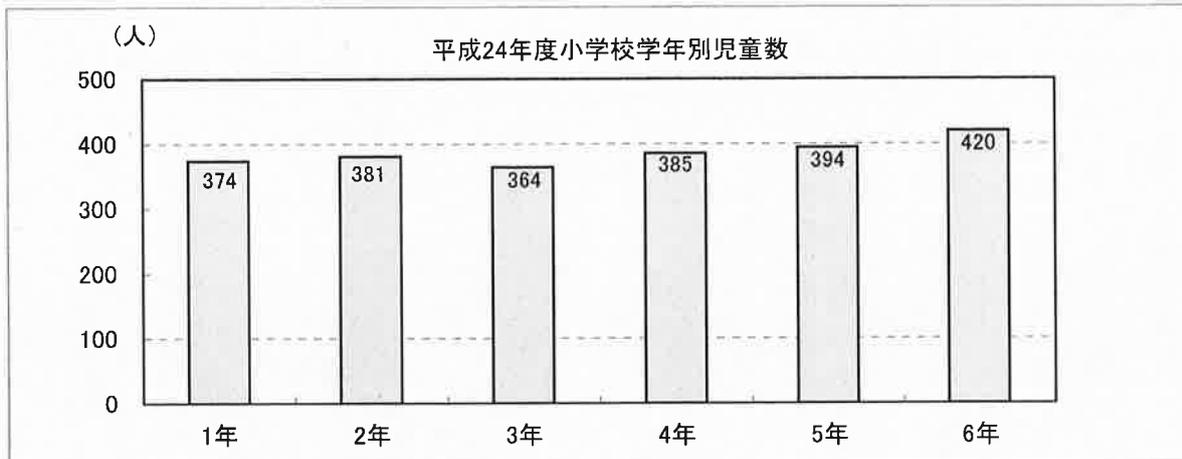
各年5月1日現在
資料 学校基本調査

年	園数	園児数(人)			学級数	教員数(人)
		総数	男	女		
平成20年	2	75	40	35	6	8
平成21年	2	69	35	34	6	8
平成22年	2	69	32	37	6	8
平成23年	2	79	36	43	6	8
平成24年	2	74	40	34	6	8

(3) 小学校別児童・学級数及び教職員数

平成24年5月1日現在
資料 学校基本調査

学校名	学年別児童数(人)							学級数	教員数(人)	職員数(人)
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
大町小学校	111	17	18	10	22	27	17	8	16	2
村木小学校	102	15	14	21	13	18	21	9	13	2
住吉小学校	144	24	29	35	15	19	22	7	14	2
上中島小学校	66	8	14	9	8	15	12	6	11	1
松倉小学校	68	10	11	7	12	12	16	6	11	1
上野方小学校	144	14	22	23	31	23	31	8	12	2
本江小学校	449	81	63	89	76	73	67	16	24	2
片貝小学校	64	6	10	9	13	11	15	6	11	2
吉島小学校	519	99	84	66	68	97	105	18	27	3
道下小学校	355	58	72	50	71	48	56	15	22	2
経田小学校	246	32	41	35	47	43	48	12	16	2
西布施小学校	50	10	3	10	9	8	10	5	8	3
計	2,318	374	381	364	385	394	420	116	185	24



(4) 小学校児童・教員数の推移

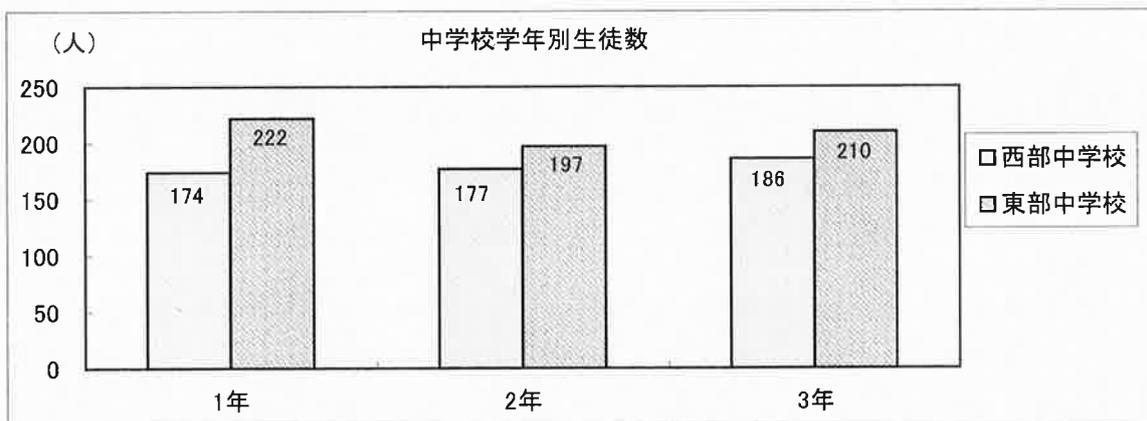
各年5月1日現在
資料 学校基本調査

年	学校数	学級数	児童数(人)	教員数(人)
平成20年	13	114	2,410	178
平成21年	13	119	2,398	185
平成22年	13	118	2,359	190
平成23年	13	118	2,365	189
平成24年	12	116	2,318	185

(5) 中学校別生徒・学級数及び教職員数

平成24年5月1日現在
資料 学校基本調査

学校名	学年別生徒数(人)				学級数	教員数(人)	職員数(人)
	総数	1年	2年	3年			
西部中学校	537	174	177	186	17	39	3
東部中学校	629	222	197	210	19	39	3
計	1,166	396	374	396	36	78	6



(6) 中学校生徒・教員数の推移

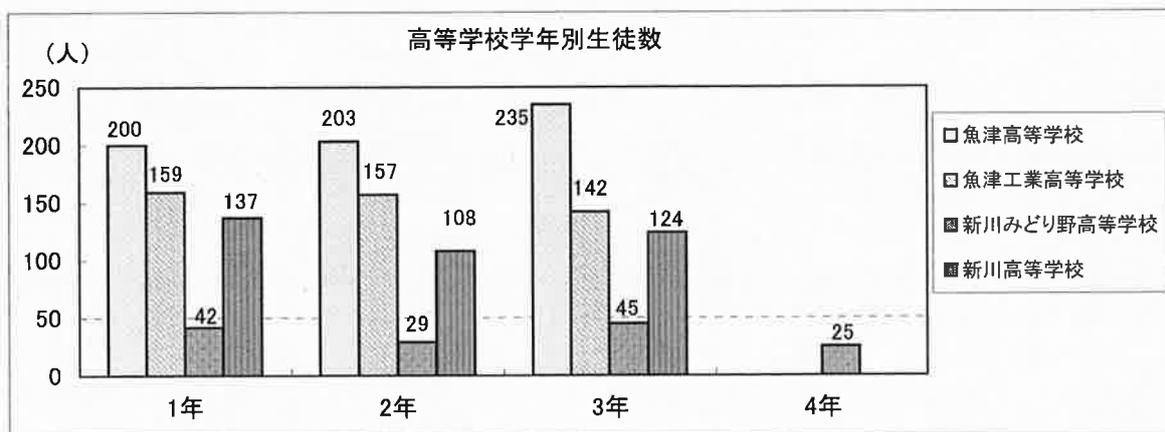
各年5月1日現在
資料 学校基本調査

年	学校数	学級数	生徒数(人)			教員数(人)		
			総数	男	女	総数	男	女
平成20年	2	36	1,220	610	610	77	40	37
平成21年	2	38	1,222	622	600	79	41	38
平成22年	2	37	1,187	626	561	78	42	36
平成23年	2	37	1,178	633	545	78	43	35
平成24年	2	36	1,166	620	546	78	47	31

(7) 高等学校別生徒数及び教職員数

平成24年5月1日現在
(単位人) 資料 各高等学校

学校名	学年別生徒数										教員数		職員数	
	総数		1年		2年		3年		4年		男	女	男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
魚津高等学校	304	334	85	115	108	95	111	124			27	26	5	4
魚津工業高等学校	442	16	153	6	150	7	139	3			46	11	3	1
新川みどり野高等学校	61	80	16	26	12	17	19	26	14	11	21	23	25	27
新川高等学校	204	165	77	60	67	41	60	64			31	15	3	3



(8) 中学校卒業後の状況

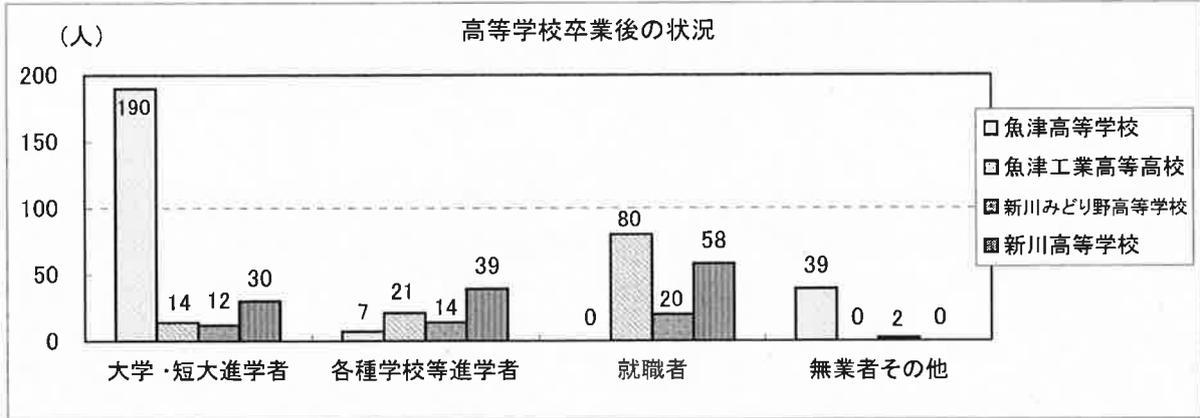
(単位人) 資料 学校基本調査

年度	卒業者 総数	高等学校等 進学者	専修学校等 入学者	就職者	その他	高等学校等 進学率	就職率 (%)
平成19年度	406	398	-	7	1	98.0	1.7
平成20年度	394	387	1	3	3	98.2	0.8
平成21年度	426	416	-	3	7	97.7	0.7
平成22年度	399	391	-	1	7	98.0	0.3
平成23年度	398	388	-	5	5	97.5	1.3

(9) 高等学校卒業後の状況

平成24年3月31日現在
(単位 人) 資料 各高等学校

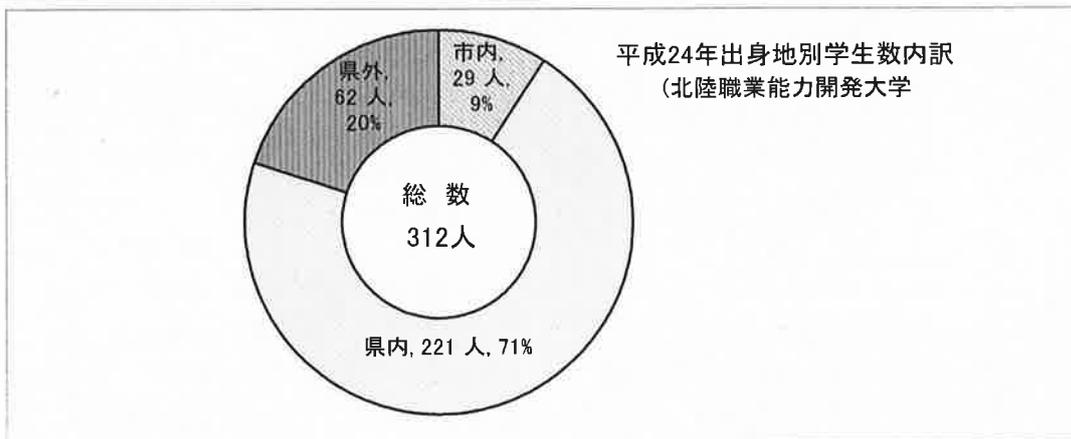
学 校 名	卒業生総数	大学・短期 大学進学者	各種学校等 進学者	就 職 者	無 業 者 その他
魚津高等学校	236	190	7	-	39
魚津工業高等高校	115	14	21	80	-
新川みどり野高等学校	48	12	14	20	2
新川高等学校	127	30	39	58	-



(10) 北陸職業能力開発大学の学生数

各年5月1日現在
(単位 人) 資料 北陸職業能力開発大学

年	区分	出身地別学生数							
		総 数		市 内		県内(市内除く)		県 外	
		男	女	男	女	男	女	男	女
平成 20 年		371	18	40	4	288	13	43	1
平成 21 年		340	13	36	0	268	11	36	2
平成 22 年		327	10	39	2	240	7	48	1
平成 23 年		323	10	40	2	221	5	62	3
平成 24 年		303	9	29	0	215	6	59	3



(11) 奨学資金貸与状況

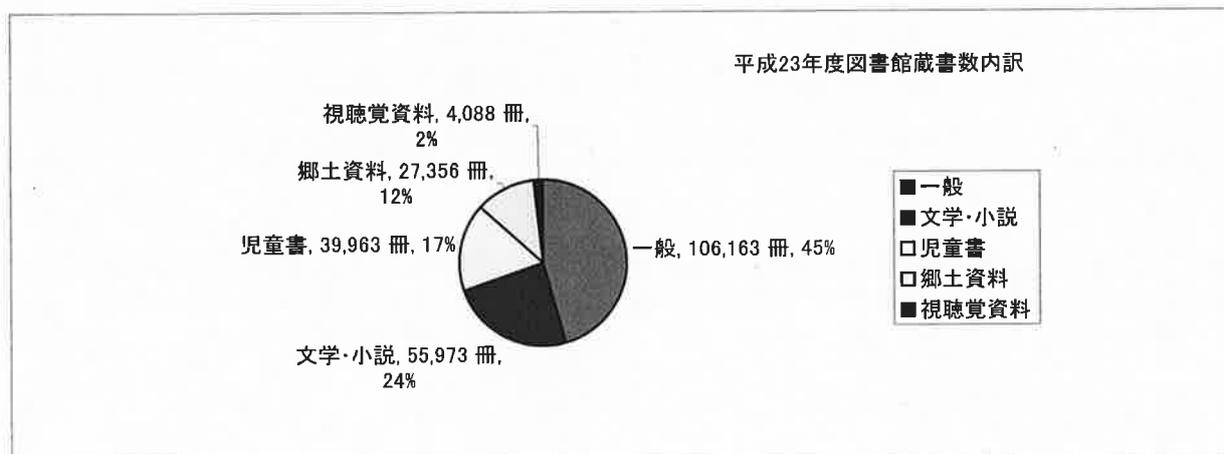
(単位 人、円) 資料 学校教育課

年 度	貸 与 決 定 者								
	高 校			大 学 (県 内)			大 学 (県 外)		
	奨学生徒	貸与金額 (年額)	計	奨学生徒	貸与金額 (年額)	計	奨学生徒	貸与金額 (年額)	計
平成19年度	3	156,000	468,000	1	336,000	336,000	12	480,000	5,760,000
平成20年度	4	156,000	624,000	3	336,000	1,008,000	9	480,000	4,320,000
平成21年度	2	156,000	312,000	5	336,000	1,512,000	16	480,000	7,680,000
平成22年度	4	156,000	624,000	7	336,000	2,352,000	17	480,000	8,160,000
平成23年度	3	156,000	468,000	8	336,000	2,688,000	23	480,000	10,760,000

(12) 図書館蔵書数

各年度末現在
(単位 冊・点) 資料 図書館

年 度	図書総数					視聴覚資料
	一 般	文学・小説	児 童 書	郷 土 資 料		
平成19年度	190,925	87,855	46,456	34,194	22,420	3,483
平成20年度	197,939	91,421	48,025	35,125	23,368	3,707
平成21年度	206,938	95,211	50,193	36,650	24,884	3,808
平成22年度	222,247	103,006	54,202	38,720	26,319	3,989
平成23年度	229,455	106,163	55,973	39,963	27,356	4,088



(13) 図書館利用状況

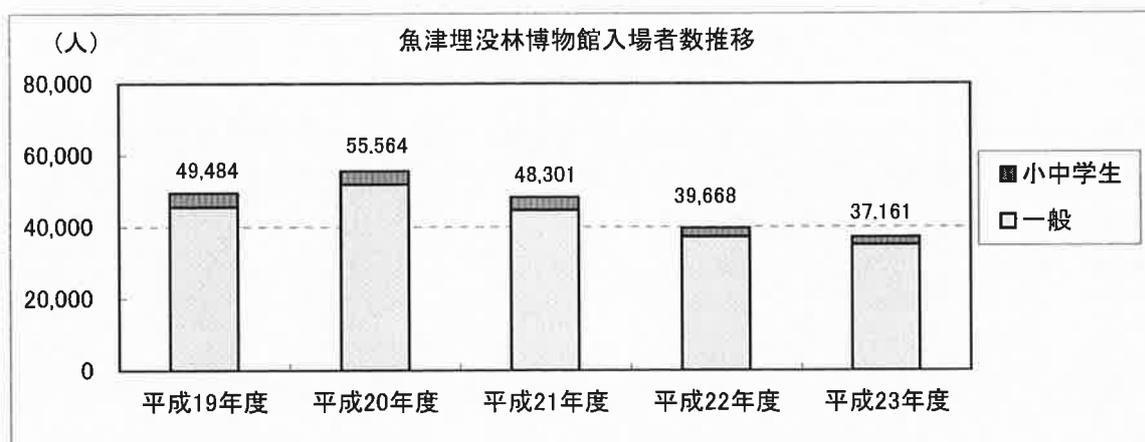
各年度末現在
資料 図書館

年 度	登 録 者 数 (人)		貸 出 冊 数 (冊)	
	総 数	う ち 児 童	総 数	う ち 児 童 書
平成19年度	20,047	3,253	335,238	91,002
平成20年度	21,651	2,384	357,777	94,202
平成21年度	23,173	2,324	359,523	91,237
平成22年度	18,069	2,047	352,778	93,692
平成23年度	20,108	2,117	347,115	84,428

(14) 魚津埋没林博物館入場者数及び入場料

資料 埋没林博物館

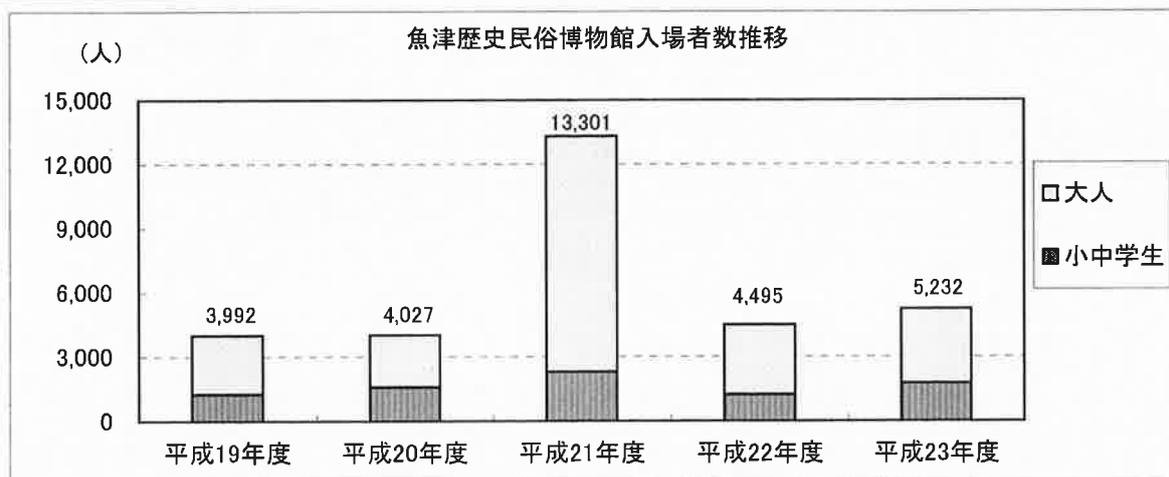
年 度	総 数 (人)	一 般			小 中 学 生			計		入 場 料 (円)
		個 人	団 体	計	個 人	団 体	計	個 人	団 体	
平成19年度	49,484	31,272	14,299	45,571	3,757	156	3,913	35,029	14,455	18,313,724
平成20年度	55,564	32,746	19,093	51,839	3,327	398	3,725	36,073	19,491	19,979,349
平成21年度	48,301	33,968	10,717	44,685	3,311	305	3,616	37,279	11,022	18,071,188
平成22年度	39,668	28,125	9,072	37,197	2,230	241	2,471	30,355	9,313	14,612,065
平成23年度	37,161	25,728	9,269	34,997	1,929	235	2,164	27,657	9,504	14,215,676



(15) 魚津歴史民俗博物館入場者数

(単位 人) 資料 生涯学習・スポーツ課

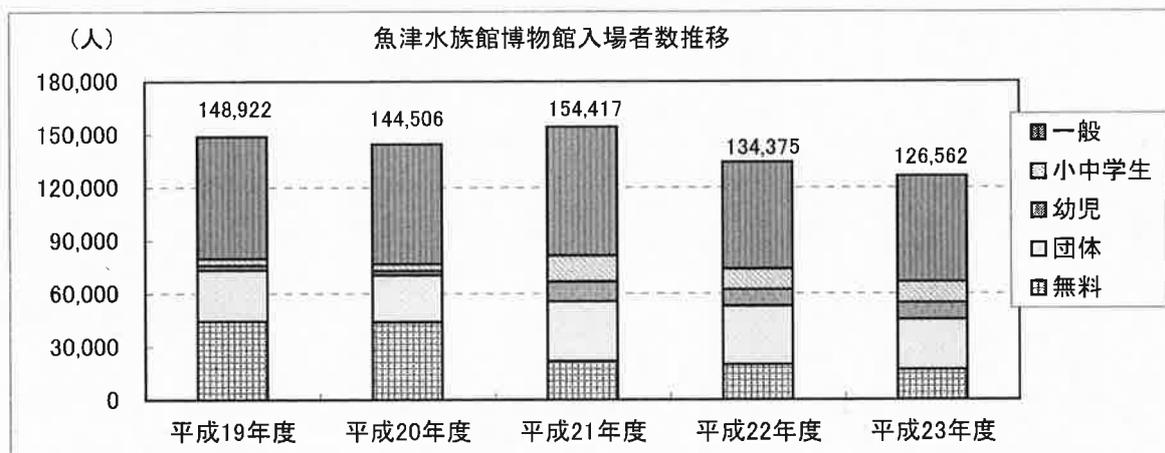
年 度	総 数	大 人	小 中 学 生
平成19年度	3,992	2,735	1,257
平成20年度	4,027	2,451	1,576
平成21年度	13,301	11,006	2,295
平成22年度	4,495	3,271	1,224
平成23年度	5,232	3,482	1,750



(16) 魚津水族博物館入場者数及び入場料

資料 魚津水族博物館

年度	総数(人)	一般	小中学生	幼児	団体	無料	入場料(円)
平成19年度	148,922	69,163	3,851	2,741	28,812	44,355	61,549,095
平成20年度	144,506	67,878	3,766	2,420	26,650	43,792	61,204,433
平成21年度	154,417	72,975	14,698	11,176	33,843	21,725	71,540,381
平成22年度	134,375	60,410	11,656	9,336	33,134	19,839	60,531,461
平成23年度	126,562	59,965	11,919	9,525	28,309	16,844	58,685,060



(17) 魚津総合公園有料公園施設(一部)利用者数

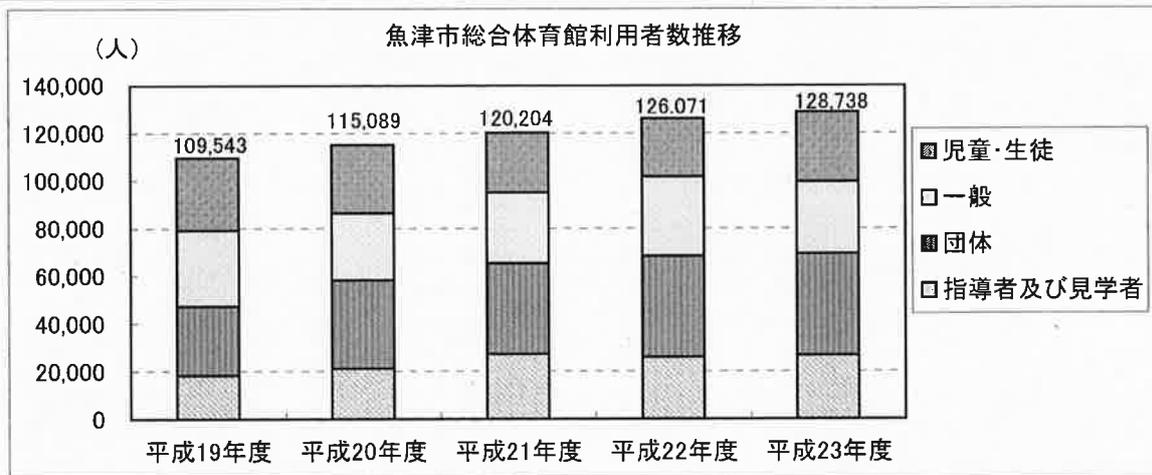
(単位 人) 資料 魚津市施設管理公社

区分	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
ミラージュハウス	335	544	836	920	1,076
テニスコート	918	948	1,589	1,746	2,030
パークゴルフ場	23,903	19,682	22,133	22,511	24,147

(18) 魚津市総合体育館利用者数

(単位 人) 資料 生涯学習・スポーツ課

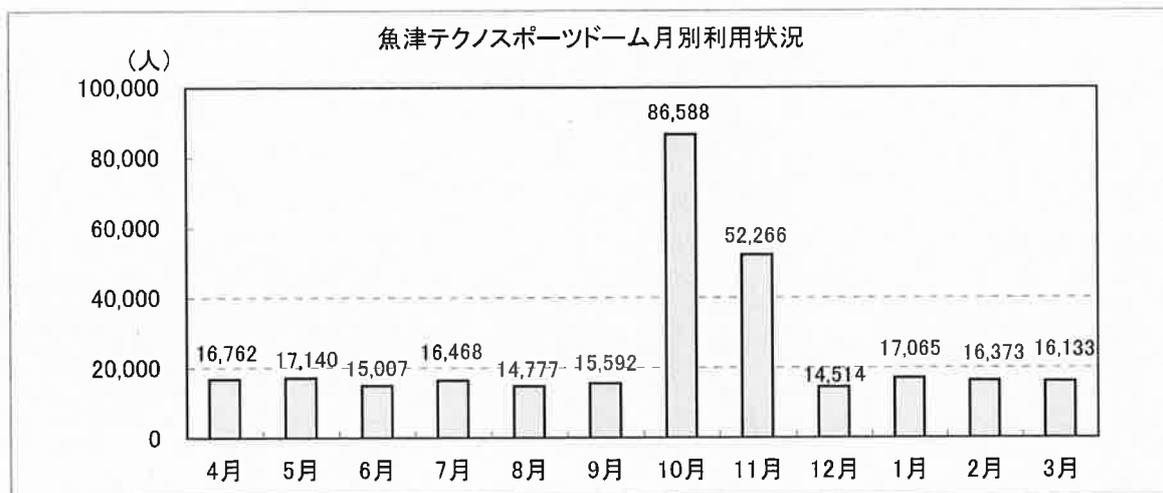
年 度	施 設 名	総 数	児 童・生 徒	一 般	団 体	指 導 者 及 び 見 学 者
平成19年度	体 育 館	67,040	17,160	15,992	24,850	9,038
	室内温水プール	42,503	13,238	15,895	4,138	9,232
平成20年度	体 育 館	71,513	14,151	13,086	33,622	10,654
	室内温水プール	43,576	14,524	15,047	3,501	10,504
平成21年度	体 育 館	75,707	11,850	15,051	33,174	15,632
	室内温水プール	44,497	13,259	14,834	4,872	11,532
平成22年度	体 育 館	81,203	13,555	14,258	37,382	16,008
	室内温水プール	44,868	10,798	19,263	4,835	9,972
平成23年度	体 育 館	81,567	13,499	14,144	37,322	16,602
	室内温水プール	47,171	15,795	16,082	5,184	10,110



(19) 魚津テクノスポーツドーム利用者数

(単位 人) 資料 商工観光課

年・月	アリーナ		産業展示 ホール	トレーニング ルーム	スタジオ	研修室 主催者室	屋外展示場 駐車場等	見学 その他	計
	一般利用	専用利用							
平成22年度計	10,924	127,423	22,478	39,162	2,845	21,505	2,582	30,600	257,519
平成23年度計	10,973	152,418	34,091	44,113	3,649	20,957	1,684	30,800	298,685
平成23年 4月	871	7,249	570	3,736	249	1,478	9	2,600	16,762
5月	945	3,143	4,382	3,597	174	1,694	605	2,600	17,140
6月	772	3,327	777	3,965	300	3,252	14	2,600	15,007
7月	723	6,088	1,155	3,742	417	1,623	20	2,700	16,468
8月	586	6,242	260	3,587	274	1,218	10	2,600	14,777
9月	790	4,002	1,677	3,759	355	2,407	2	2,600	15,592
10月	644	63,247	14,570	3,790	295	1,332	10	2,700	86,588
11月	809	38,791	4,250	3,167	448	1,766	535	2,500	52,266
12月	874	5,951	588	3,069	224	1,500	8	2,300	14,514
平成24年 1月	1,204	3,740	4,205	3,496	318	1,477	225	2,400	17,065
2月	1,365	6,069	452	3,911	300	1,530	246	2,500	16,373
3月	1,390	4,569	1,205	4,294	295	1,680	0	2,700	16,133



(20) 新川文化ホール利用状況

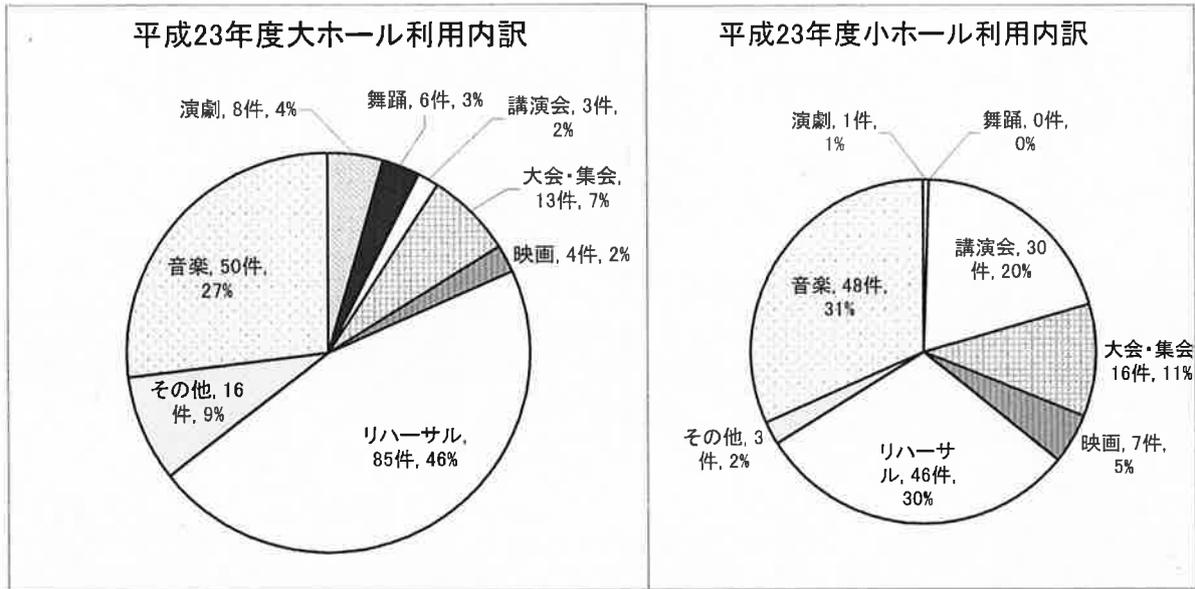
(単位 日、件) 資料 生涯学習・スポーツ課

区分 年度	利用 日数	利用率 (%)	ジャンル別利用件数								計
			音楽	演劇	舞踊	講演会	大会・集会	映画	リハーサル	その他	
平成19年度	167	59	60	8	2	10	7	2	80	15	184
平成20年度	201	70	56	8	4	9	8	6	99	29	219
平成21年度	195	67	40	5	7	7	11	5	82	49	206
平成22年度	190	69	49	8	6	1	15	3	103	16	201
平成23年度	178	63	50	8	6	3	13	4	85	16	185
平成19年度	163	56	43	4	4	35	12	8	61	10	177
平成20年度	148	51	40	7	2	21	15	5	64	6	160
平成21年度	151	53	54	6	1	29	11	8	47	4	160
平成22年度	167	59	51	6	1	16	17	8	73	1	173
平成23年度	143	51	48	1	0	30	16	7	46	3	151

区分 年度	展示ホール		リハーサル室		練習室(3室)		音楽室(2室)		イベント広場		会議室(7室)		和室(3室)	
	利用 日数	利用 率 (%)												
平成19年度	215	70	138	45	454	49	262	43	1	1	1,920	30	393	14
平成20年度	222	73	146	48	529	58	219	36	4	1	1,965	31	442	16
平成21年度	232	75	154	50	510	56	264	43	4	1	1,854	29	512	19
平成22年度	208	68	157	51	518	56	251	41	25	8	2,187	34	706	26
平成23年度	204	66	136	44	592	64	144	23	4	1	2,094	32	624	23

注1 利用率=利用日数/開館日数

注2 会議室・和室の利用件数=午前・午後・夜間各時間帯の利用件数合計



(21) 新川学びの森天神山交流館利用状況

(単位 件、人) 資料 生涯学習・スポーツ課

年度	総 数		音 楽		生涯学習		国 際		職業訓練		その他	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
19	5,900	44,132	4,860	20,817	539	11,455	46	817	0	0	455	11,043
20	6,165	39,533	5,124	22,493	603	10,103	0	0	0	0	438	6,937
21	6,698	42,058	5,509	24,420	692	9,714	47	467	0	0	450	7,457
22	6,784	42,723	5,627	25,350	582	8,994	1	20	0	0	574	8,359
23	7,153	56,363	5,040	25,144	671	10,562	0	0	593	9,621	849	11,036

(22) 公民館一覧

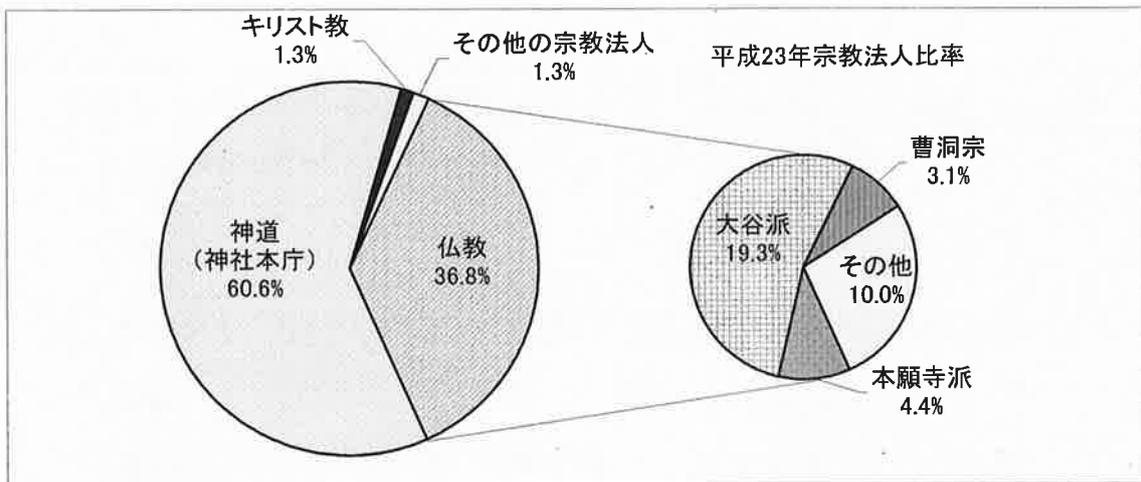
平成24年4月1日現在
資料 生涯学習・スポーツ課

公民館名	建設年	構造	延べ面積 (㎡)	職 員 (人)				所在地	電話番号	備 考
				館 長	主 事	指導員	書記			
中央公民館	-	-	-	(兼任)1	-	-	-	天神野新147番地1	23-1045	新川学びの森天神山交流館内
大町公民館	S56	3階建	1,054	(非常勤)1	(非常勤)1	(常勤)1	1	本町一丁目1番10号	24-4470	ピロティを含まず。
村木公民館	S53	4階建	724	〃	〃	(非常勤)1	〃	火の宮町1番13号	24-2478	
下中島公民館	S58	2階建	505	〃	〃	〃	〃	慶野172番地2	22-4488	
上中島公民館	S48	2階建	383	〃	〃	〃	〃	吉野1280番地9	22-0373	
松倉公民館	S47	平屋建	441	〃	〃	〃	〃	鹿熊33番地1	33-9301	
上野方公民館	S50	2階建	529	〃	〃	〃	〃	大海寺野1370番地	22-0368	
本江公民館	S54	3階建	823	〃	〃	(常勤)1	〃	友道1401番地	22-0030	ピロティを含まず。
片貝公民館	S52	2階建	606	〃	〃	(非常勤)1	〃	島尻1535番地	32-8203	
加積公民館	H12	2階建	1,205	〃	〃	(常勤)1	〃	六郎丸1062番地	24-4440	農村環境改善センター 共用分1,041㎡含む。
道下公民館	S63	3階建	843	〃	〃	(非常勤)1	〃	北鬼江二丁目14番15号	22-2285	
経田公民館	S57	3階建	945	〃	〃	〃	〃	浜経田466番地	24-4823	
天神公民館	S55	平屋建	1,047	〃	〃	〃	〃	天神野新220番地	31-7179	木造体育館含む。
西布施公民館	S51	2階建	349	〃	〃	〃	〃	小川寺3027番地	31-7305	

(23) 宗教法人

各年4月1日現在
資料 富山県文書学術課

年	神 道		仏 教				キリスト教	その他の宗教法人
	総 数	(内) 神社本庁	総 数	(内)浄土真宗 本願寺派	(内)真宗 大谷派	(内) 曹 洞 宗		
平成20年	97	97	60	7	32	5	2	2
平成21年	97	97	60	7	32	5	2	2
平成22年	97	97	60	7	32	5	2	2
平成23年	97	97	59	7	31	5	2	2
平成24年	97	97	58	6	31	5	2	2



(24) 指定文化財一覧

平成24年4月1日現在
資料 生涯学習・スポーツ課

指定区分	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定日
国指定	特別天然記念物	魚津埋没林	釈迦堂字三田割814	魚津市	昭和 30.8.22
〃	〃	ホタルイカ群遊海面	富山湾(水橋より魚津)	富山県	27.3.29
〃	〃	カモシカ	地域を定めず	富山県	30.2.15
〃	重要無形民俗文化財	魚津のタテモン行事	諏訪町	魚津たてもん保存会	平成 9.12.15
県指定	天然記念物	大沢の地鎮杉	大沢字前田632	個人	昭和 40.1.1
〃	〃	坪野のつなぎがや	坪野字山の谷	坪野地区	40.10.1
〃	史跡	桜峠遺跡	布施爪字上野212他	個人	40.1.1
〃	〃	松倉城跡	鹿熊字城山3-2	魚津市、個人	〃
〃	建造物	旧沢崎家住宅	小川寺字天神山	魚津市	49.7.1
〃	彫刻	木造十一面観世音菩薩立像	歴史民俗博物館	神宮寺	40.1.1
〃	〃	木造阿弥陀如来立像	金山谷3071	金山谷地区	45.12.19
〃	〃	金銅千手観世音菩薩立像	小川寺2921-1	千光寺	59.2.22
〃	有形民俗文化財	たてもん	諏訪町	諏訪神社氏子総代	47.10.5
〃	無形民俗文化財	小川寺の獅子舞	小川寺	小川寺獅子舞保存会	平成 6.2.24
市指定	史跡	天神山城跡	小川寺字天神山	光学坊他	昭和 38.4.1
〃	〃	升方城跡	升方字城山	魚津市、個人	〃
〃	〃	北山(金山谷)城跡	北山	個人	〃
〃	〃	坪野城跡	坪野	個人	〃
〃	〃	魚津城跡	本町一丁目	魚津市	〃
〃	〃	石の門	鹿熊字石ノ門	魚津市、個人	〃
〃	〃	武隈屋敷跡(小菅沼城跡)	小菅沼	個人	〃
〃	〃	青山佐渡守・豊後守父子の墓	小川寺字天神山	魚津市	〃
〃	〃	大音主馬の碑	本江字畑田73-9	長教寺	〃
〃	〃	大伴家持の歌碑	三ヶ(魚津総合公園内)	魚津市	〃
〃	〃	万灯台	新角川一丁目	〃	〃
〃	〃	高円堂用水	天神野新	〃	〃
〃	〃	魚津町奉行所跡	双葉町601	長教寺	〃
〃	〃	小貝塚	諏訪町	大泉寺	〃
〃	〃	水尾城跡	鹿熊字水尾山	個人	56.7.29
〃	名勝	蜃気楼展望地点	釈迦堂地先	魚津市	51.7.19
〃	有形民俗文化財	農具	歴史民俗博物館	魚津市	50.7.30
〃	〃	漁具	〃	〃	〃
〃	〃	生活用具	〃	〃	〃
〃	〃	獅子頭及び面	〃	〃	55.7.3
〃	無形民俗文化財	せり込み蝶六	市内一円	せり込み蝶六保存会	38.4.1
〃	〃	布施谷節	西布施	布施谷節保存会	〃
〃	〃	鹿熊の刀踊り	鹿熊	鹿熊の刀踊り保存会	平成 10.4.1
〃	古文書	制札(高札)	歴史民俗博物館	魚津市	昭和 47.1.26
〃	〃	椎名康胤寄進状	上村木二丁目	常泉寺	〃
〃	〃	佐々成政書状	本町一丁目	照頭寺	〃
〃	〃	雲門寺壁書	上村木二丁目	常泉寺	〃
〃	〃	前田利常書状	本町一丁目	照頭寺	〃
〃	絵画	紙本著色 釈迦三尊像	上村木二丁目	常泉寺	〃
〃	〃	紙本著色 庶民風俗図屏風	〃	〃	〃
〃	〃	紙本水墨 達磨大師図	〃	〃	〃
〃	〃	絹本水墨 虎図	〃	〃	〃
〃	〃	紙本水墨 獅子図屏風	〃	〃	〃
〃	〃	絹本著色 阿弥陀三尊像	諏訪町18-18	大泉寺	63.2.2
〃	〃	魚津町惣絵図	魚津市立図書館	魚津市	〃
〃	〃	魚津町軒名図	〃	〃	〃
〃	歴史資料	近世武具	歴史民俗博物館	魚津市、個人	平成 13.6.4
〃	彫刻	水噴きの龍	新角川二丁目	桃源寺	昭和 38.4.1
〃	〃	木造僧形八幡神座像	宮津1520	八幡宮	平成 12.4.3